

○江南区フロアカーリングルール（平成 27 年 2 月 26 日）

【江南区スポーツ振興会】 本ルールは日本フロアカーリング協会「フロアカーリング競技規則（平成 25 年 5 月 1 日）」を準用し、一部ローカルルールを取り入れています。目的や会場等に応じて、ルールを柔軟に変更・運用し、お楽しみください。

（コート、用具の定義）

第 1 条 コート、用具の規格は別記の通りとし、コート（レッドゾーン・グリーンゾーンを合わせた範囲。）内で競技を行う。ただし、ターゲット及びフロッカーの有効とされる範囲は次のとおりとする。

（1）ターゲット及びフロッカーはグリーンゾーン内を有効とする。

（2）ターゲット及びフロッカーがオンラインのときは、コート内と見なす。

（チーム構成）

第 2 条 競技者はチーム 3 名とし、1 個のターゲットと各チーム 6 個のフロッカーを使用しゲームを進める。

登録は 6 名まで可能で、送球順は自由であるが、セット内での変更はできない。（選手交代はセットごとにできる。）

なお、キャプテンは所定のマークをつけること。

（送球方法）

第 3 条 ターゲット及びフロッカーは、フロアに置いて送球ゾーン内（ターゲット及びフロッカーが手から離れる前にレッドゾーン内に体の一部が触れてはいけませんが、送球サイドラインについては、触れたり、踏み越えてもよい。また、フロッカーについては送球サイドラインに触れてもよいが、送球サイドラインの内側（送球ゾーン側）から、交点 A・B に触れずに送球ラインを通るように送球しなければならない）から押し出すように送球する。

コート外に停止したフロッカーは、審判が取り除く等の判断を行い、必要な対応を行うものとする。

（競技方法）

第 4 条 この競技は審判の指示により、次の順のように行う。

（1）競技に参加する選手は、送球ゾーンに集合し、あいさつ、握手をする。

（2）両チームのキャプテンによるジャンケンで先攻権を決め、以後セットごとに先攻権は移動する。

（3）先攻権を持つチームがレッドフロッカー、後攻のチームがイエローフロッカーを持つ。

（4）先攻チームの送球順 1 番の選手がターゲットを送球する。ターゲットは送球ゾーンからグリーンゾーン内（オンラインは有効）に停止するように送球する。

ターゲットがグリーンゾーン以外に停止したときは 1 回のみ送球し直すことができる。

2 回とも失敗したときは、ターゲットの送球権のみ移動する。（先攻権は移動しない。）

なお、後攻チームの送球順 1 番の選手が 2 回とも失敗した場合は、審判がグ

リーンゾーン内の任意の場所にターゲットを置く。

(5) 先攻チームからフロッカーを送球する。ターゲットを送球した選手が、最初にフロッカーを送球する。

次に、後攻チームの送球順1番の選手がフロッカーを送球し、以降送球順に従って、先攻、後攻の順にフロッカーを送球する。一巡したら、送球順に従って、二巡目の送球に入る。

(6) 二巡目の送球が終了した後は、得点計算が終了した時点で、そのセットを終了する。

(7) 各セットの競技中、選手1名は必要な場合においてのみコート内に入り、各プレーヤーに指示を与えることができる。他のプレーヤーについては、審判の許可がなければコート内に立ち入ることはできない。(競技に支障が出ないように、速やかに行うこと。)

(得点計算)

第5条 得点は、ターゲットを中心に最も近いフロッカーのチームに与える。(ターゲットに最も近い相手チームより内側にある自チーム全てのフロッカーの個数が、そのまま得点となる。)

両チームとももっとも近いフロッカーが同距離の場合は、両チームに1点ずつを与える。

(得点計算の例外)

第6条 ゲーム中、ターゲットをグリーンゾーン外に弾き飛ばした場合、そのセットは終了し、相手チームに2点または相手チームの未送球フロッカーの数のいずれが多いほうを得点として与える。

(勝敗の決定)

第7条 ゲームの勝敗は、9点先取したチームが勝ちとなる。ただし、大会運営上の理由で勝敗の決定方法を変更することができる。(先取得点の変更、セット取得、規定セット内での得点など。)

(審判)

第8条 審判は1コートに1名とし、次の任務を行う。ただし、任務遂行のために必要な場合は、審判補助員を置くことができる。

(1) 公正な競技の進行。

(2) 選手の招集、整列。

(3) フロッカーの送球指示。

(4) 試合進行上、必要なことについてのキャプテンへの指示。(コート外に出たフロッカーの返球処理、フロッカー、ターゲット間距離計測補助など。)

(5) 送球時のラインクロスの確認、注意。

(6) ターゲット、フロッカーの停止位置の確認。

(7) ゲーム中、必要に応じたフロッカー、ターゲット間の距離の確認(両チームのキャプテンとともに行う。)

(8) 得点の間確認。(両チームのキャプテンとともにいき、サインをもらう。)

(9) 勝敗の決定。

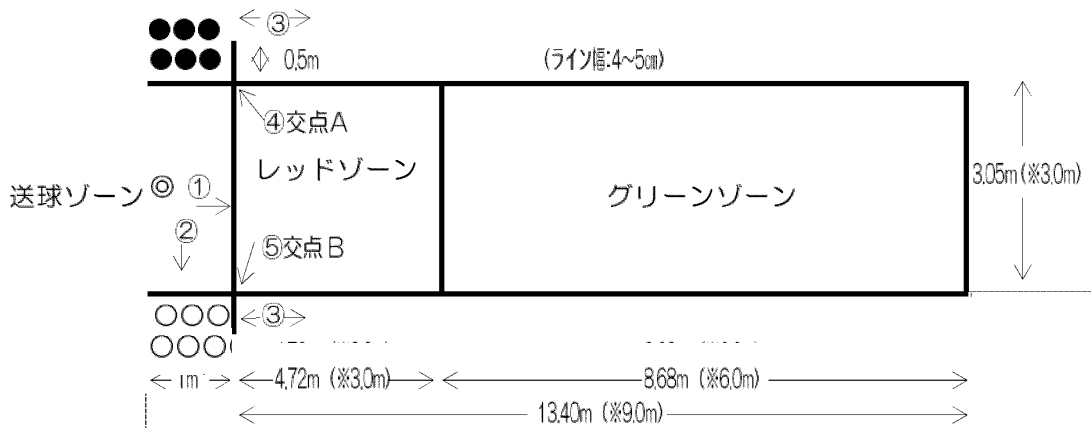
フロアカーリングコート、用具

用具

- ターゲット（4輪）：グリーン1個
- フロッカー（3輪）：レッド・イエロー各4個
 （※レッド・イエロー各6個）
- 規格（ターゲット・フロッカー共通）
 - 直径 23.0 cm（±2.0 cm）
 - 厚み 7.3cm（±0.2cm）
 - 重量 2.3kg（±0.2kg）

- メジャー（5 m 程度）
 （フロッカーとターゲットの距離を測る）
- スコアシート（最終ページ記載）

コート（バドミントンコート半分の広さ）



- ①送球ライン ②送球サイドライン ③アウトフロッカーを置く位置
- ④交点A（送球ラインと送球サイドラインの交わる点） ⑤交点B
- （コート設営に余裕のない場合は、コートを縮小しゲームをすすめることができる。）

スコアシート例 はレッドフロッカー（各セットの先攻）

大会 審判					/		No. _____				
予選・決勝	ダブルス・フォース				ブロック	第	試合	コート			
チー	セット	1	2	3	4	5	17	延長	得点	キャプテンサイン	

対戦チーム _____		対 _____									